

## 巻頭言



技術センター長 藤久保 昌彦

広島大学は、研究・教育活動における技術的支援活動をより効果的、計画的に推進するため、平成16年4月の大学法人化を契機に、すべての技術職員の所属を一元化し、広島大学技術センターを発足させました。総合大学である広島大学において、技術センターのカバーする学問分野は、理学、工学、医学、農学など多岐にわたります。技術センターは、各分野における研究・教育活動の技術支援に、また情報サービスをはじめとする全学的技術支援に活発に活動を行っています。

近年、科学技術はますます高度化、複合化が進んでおり、その研究支援を担う技術職員も、より高度かつ幅広い技術、知識が必要とされるようになっていきます。また、自然科学・技術系の教育において欠かすことができないものに実験、実習があり、これらについて技術職員の果たす役割は非常に大きいものがあります。さらに、研究、教育を通じて様々な製品の加工・工作のニーズがあり、それに対応できる技能を維持することも大切です。技術センターは、これら様々なニーズに応えるべく、学内・学外研修などを通じて、技術職員の専門技術能力の一層の向上をはかるように努めております。

全学組織としてスタートした技術センターにとって、センターの持つシーズ、ポテンシャルおよび活動状況を学内および学外に発信することは、最重要の使命の一つと考えます。このたび、発足後1年を経て技術センター報告集が発刊の運びとなりましたことは、大きな喜びです。本報告集は、技術職員の方々が日々の技術支援業務を通じて挙げられた成果の報告、研修報告、個人および部門のシーズ・ポテンシャルなどをまとめたものです。これまで、学部単位の技術部報告集の例はありますが、全学センターとしての報告集はこれが初めてです。本報告集を通じて、センターのシーズや活動成果をご理解いただき、またご利用いただけますと共に、センターの活動に忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。同時に、技術職員の方々にとって本報告集が、学内外との新たな交流への発展や、センター内における技術および技能の共有・継承へと発展的に活かされていくことを期待します。

最後に、本報告集の編集にご尽力いただいた輝平盛重委員長を始めとする技術センター報告集編集委員会の方々、投稿者の方々、そして種々ご援助いただいた学術部研究推進グループの方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

平成17年3月